

本のむし

編集 杉本瑛・図書委員会 広報班

配布版

2016年12月20日発行



こんにちは図書委員長の杉本瑛です。
 図書委員会は、今回から定期的に
 「配布版 本のむし」として本誌を発刊
 することになりました。
 内容としては、本の紹介や図書室の
 情報、先生のおすすめ本インタビュー
 などを予定しています。
 これから頑張って続けていくので、
 よろしくお祈りします！

(イラスト 梨本真菜)

冬休みの貸出について

12/14(水)~12/22(木)

本を一人6冊、1/10(火)まで
 借りることができます！



『本の福袋企画(仮)』

年明けの図書室では本の福袋を**無料**で
 用意しています！(レンタルですよ笑)
 福袋の中にはテーマごとに三冊の本が
 入っています。

新年の運試しに、もしくは新しいテーマ
 を開拓してみたいはかがでしょうか？

本の紹介

「帝王、死すべし」

著者 折原一 913-オ(文庫)

中学三年生の息子、輝久の部屋には
 ノートの表紙に『てるくはのる』と
 書かれた恐ろしい内容の日記が…
 とても面白いミステリー小説です！
 実際に自分で読んで
 みてとても鳥肌が
 立った作品です。

予想だに出来ない
 ラストが
 待っている！



★先生のおすすめ本★

先生方におすすめの本を紹介してもらいました！今回はダイジェスト
 版ですが、3月ごろに拡大版を掲示するのでお楽しみに…♪
 (インタビュー担当 峯尾・中原・西久保)

圓谷 真人 先生 H1年 D組 理科

オススメ本は『谷川俊太郎詩集』(著 谷川俊太郎)、『にんげん
 だもの』(著 相田みつを)、『きっと大丈夫だと思える スヌーピー』
 (著 シュルツ)の三冊です。

すべて人生や生活について深い事柄が書かれた詩集です。谷川さんの
 「二十億光年の孤独」は、私は物理の先生なので、そんな風に考える
 こともできるんだなあ、と興味深く思いました。『にんげんだもの』は、
 自分は自分で良いんだ、と思わせてくれます。スヌーピーの本は皮肉
 たっぷりに人生を語る、ウィットに富んだ一冊です。



植田 卓真 先生 H2年 D組 数学

『手紙屋 蛍雪編』(著 喜多川泰)と『コンビニ人間』(著 村田
 沙耶香)がおすすめで、最近では『高校入試』(著 湊かなえ)を
 読みました。

『手紙屋』は、なぜ勉強するのか？ということや大学進学を
 する意味について、高校二年生の主人公を通して描かれています。
 ぜひ中高生に読んでほしい1冊です。『コンビニ人間』は、周り
 とは感覚が違い、唯一コンビニでなら普通でいられる主人公の話です。
 「普通とは何か」ということについて考えさせられます。



1月の 開室予定

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
01 🍷	02 🌸	03 🍡	04 🍓	05	06	07
08	09	10 10:30~17:50	11 10:30~17:50	12 8:30~15:50	13 10:30~17:50	14 11:10~14:50
15	16 10:30~17:50	17 10:30~17:50	18 10:30~17:50	19 8:30~15:50	20 10:30~17:50	21 11:10~14:50
22	23 10:30~17:50	24 ♪合唱コン♪	25 10:30~17:50	26 8:30~15:50	27 10:30~17:50	28 11:10~14:50
29	30 10:30~17:50	31 8:30~	01 🐟	02 🌸	03 🌸	04 🌸